



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月10日

上場会社名 株式会社Minoriソリューションズ
 コード番号 3822
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 滝澤 正盛
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 清水 陽子
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

上場取引所 JQ
 URL <http://www.minori-sol.jp>

(TEL) 03 (3982) 5981
 配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	2,902	101.0	△33	—	2	△96.2	693	1,422.9
22年3月期第1四半期	1,443	△12.2	76	9.9	78	6.6	45	9.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	157.87	—
22年3月期第1四半期	22.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	6,287	3,753	59.7	854.04
22年3月期	2,675	1,865	69.7	914.58

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 3,753百万円 22年3月期 1,865百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	15.00	—	10.00	25.00

(注) 1. 当四半期における配当予想の修正有無：無
 2. 23年3月期第1四半期配当金の内訳 記念配当 5円00銭

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	6,440	—	100	—	94	—	680	—	154.72
通期	14,200	—	550	—	540	—	800	—	182.03

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規 — 社（社名 ）、除外 — 社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	4,395,000株	22年3月期	2,040,000株
23年3月期1Q	160株	22年3月期	62株
23年3月期1Q	4,394,898株	22年3月期1Q	2,039,938株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、既知・未知のリスクや不確定な要素等の要因により、実際の業績は記載見通しとは異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における我が国の経済は、新興国での需要を背景とした輸出関連企業などを中心とした景気回復傾向が継続いたしました。一方で、欧州での信用不安などから世界経済への先行き懸念が広がり、円高・株安傾向が進むなど、依然厳しい状況が続いております。

情報サービス産業におきましても、企業の設備投資が依然として本格化しない環境の下で、IT化投資需要も依然として抑制傾向が続いたため、事業環境は厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは平成22年4月1日付で株式会社イーウェーブと合併し、商号も株式会社Minoriソリューションズと改め、新会社としてスタートいたしました。新たな体制の下で、従来からの金融系をはじめとする専門性の高い安定した顧客サービス分野に、より広い業種・業界を対象とした受託開発ビジネスを加え、事業収益の安定性と成長性が調和した事業ポートフォリオの構築を進め、さらなる事業力の強化を進めております。また、事業規模の拡大に併せ経営効率の改善を進め、各種費用の削減を強力に推進いたしました。なお、この度の合併に伴い、724,781千円を負ののれん発生益として認識しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は2,902,198千円、営業損失が33,733千円、経常利益が2,980千円、四半期純利益は693,813千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は6,287,970千円となり、前連結会計年度末に比べ3,612,573千円の増加となりました。

流動資産は4,285,683千円となり、2,229,172千円の増加となりました。その主な要因は、合併等に伴う現金及び預金974,802千円の増加並びに受取手形及び売掛金766,999千円の増加等によるものであります。

固定資産は2,002,286千円となり、1,383,400千円の増加となりました。その主な要因は、合併等に伴う無形固定資産924,252千円の増加及び有形固定資産131,859千円の増加等によるものであります。

負債につきましては、2,534,593千円となり、前連結会計年度末に比べ1,724,892千円の増加となりました。

流動負債は2,053,593千円となり、1,448,946千円の増加となりました。その主な要因は、合併等に伴う短期借入金850,000千円の増加等によるものであります。

固定負債は481,000千円となり、275,946千円の増加となりました。その主な要因は、合併等に伴う退職給付引当金の増加等によるものであります。

純資産につきましては、3,753,376千円となり、前連結会計年度末に比べ1,887,681千円の増加となりました。その主な要因は、合併等に伴う資本剰余金986,850千円の増加及び利益剰余金673,414千円の増加等によるものであります。

連結キャッシュ・フロー

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ937,255千円の増加となり、当第1四半期連結会計期間末では、1,966,557千円となりました。当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

負ののれん発生益が724,781千円、たな卸資産の増加179,500千円等があったものの、税金等調整前四半期純利益が693,745千円、売上債権の減少が671,194千円あったこと等により、営業活動の結果獲得した資金は、381,761千円（前年同四半期は56,395千円の使用）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

保険積立金の解約による収入15,724千円、差入保証金の回収による収入12,943千円等があったものの、無形固定資産の取得による支出41,398千円があったこと等により、投資活動の結果使用した資金は、7,674千円（前年同四半期は640千円の使用）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払36,005千円、短期借入金の減少50,000千円等により、財務活動の結果使用した資金は、87,088千円（前年同四半期は131,619千円の獲得）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末残高には、株式会社イーウェーブとの合併に伴う現金及び現金同等物の増加650,256千円を含んでおります。当第1四半期連結会計期間において、当該合併に伴い同社から引き継いだ資産及び負債については、非資金取引として四半期連結キャッシュ・フロー計算書の増減要因から除外しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年6月18日に公表いたしました連結業績予想の修正以降、通期業績の修正は行っておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業損失は1,167千円増加し、経常利益は1,167千円減少しており、税金等調整前四半期純利益は24,964千円減少しております。

②企業結合に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,214,603	1,239,801
受取手形及び売掛金	1,454,172	687,173
商品	20,518	21,355
仕掛品	268,587	8,105
その他	330,146	101,525
貸倒引当金	△2,344	△1,450
流動資産合計	4,285,683	2,056,511
固定資産		
有形固定資産	144,531	12,672
無形固定資産		
のれん	30,736	34,151
ソフトウェア	890,697	940
その他	39,406	1,495
無形固定資産合計	960,840	36,588
投資その他の資産		
投資有価証券	379,455	309,737
その他	526,419	264,619
貸倒引当金	△8,961	△4,731
投資その他の資産合計	896,914	569,625
固定資産合計	2,002,286	618,886
資産合計	6,287,970	2,675,397
負債の部		
流動負債		
買掛金	369,133	243,113
短期借入金	900,000	50,000
未払法人税等	12,137	17,292
賞与引当金	59,108	117,971
その他	713,213	176,270
流動負債合計	2,053,593	604,647
固定負債		
退職給付引当金	434,046	192,494
その他	46,954	12,560
固定負債合計	481,000	205,054
負債合計	2,534,593	809,701
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	512,250
資本剰余金	1,196,550	209,700
利益剰余金	1,849,112	1,175,698
自己株式	△89	△40
株主資本合計	3,795,573	1,897,608
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△42,196	△31,912
評価・換算差額等合計	△42,196	△31,912
純資産合計	3,753,376	1,865,695
負債純資産合計	6,287,970	2,675,397

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
売上高	1,443,658	2,902,198
売上原価	1,230,010	2,602,204
売上総利益	213,647	299,994
販売費及び一般管理費	137,374	333,727
営業利益又は営業損失(△)	76,273	△33,733
営業外収益		
受取利息	596	715
有価証券利息	4	—
受取配当金	1,067	2,621
助成金収入	—	34,587
その他	244	2,286
営業外収益合計	1,914	40,210
営業外費用		
支払利息	113	2,013
保険解約損	—	926
その他	—	557
営業外費用合計	113	3,496
経常利益	78,073	2,980
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,830
貸倒引当金戻入額	319	2,268
負ののれん発生益	—	724,781
特別利益合計	319	728,880
特別損失		
合併関連費用	—	14,317
会員権売却損	900	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	23,797
特別損失合計	900	38,114
税金等調整前四半期純利益	77,493	693,745
法人税、住民税及び事業税	547	2,728
法人税等調整額	31,387	△2,795
法人税等合計	31,935	△67
少数株主損益調整前四半期純利益	45,558	693,813
四半期純利益	45,558	693,813

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	77,493	693,745
減価償却費	4,211	97,873
のれん償却額	3,415	3,415
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△319	△2,283
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△114,171	△108,862
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,793	10,987
受取利息及び受取配当金	△1,664	△3,336
有価証券利息	△4	—
支払利息	113	2,013
負ののれん発生益	—	△724,781
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	23,797
売上債権の増減額 (△は増加)	87,365	671,194
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△20,098	△179,500
未収入金の増減額 (△は増加)	2,214	—
仕入債務の増減額 (△は減少)	△48,346	△190,587
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△1,830
未払金の増減額 (△は減少)	△4,109	—
未払費用の増減額 (△は減少)	14,472	—
未払消費税等の増減額 (△は減少)	3,623	—
その他	16,417	101,761
小計	24,405	393,606
利息及び配当金の受取額	1,664	3,223
利息の支払額	△287	△1,974
法人税等の支払額	△82,177	△13,094
営業活動によるキャッシュ・フロー	△56,395	381,761
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△160,000	△900
定期預金の払戻による収入	160,000	—
無形固定資産の取得による支出	—	△41,398
投資有価証券の売却による収入	—	8,229
貸付けによる支出	△1,000	—
貸付金の回収による収入	359	—
差入保証金の回収による収入	—	12,943
保険積立金の解約による収入	—	15,724
その他	—	△2,273
投資活動によるキャッシュ・フロー	△640	△7,674
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	150,000	△50,000
配当金の支払額	△18,380	△36,005
その他	—	△1,082
財務活動によるキャッシュ・フロー	131,619	△87,088
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	74,583	286,998
現金及び現金同等物の期首残高	976,534	1,029,301
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	650,256
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,051,117	1,966,557

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は平成22年4月1日付で、株式会社イーウェーブと合併し、株式会社イーウェーブの普通株式1株に対して当社普通株式100株を割当交付いたしました。この結果、当第1四半期連結会計期間において資本金が237,750千円、資本剰余金が986,850千円、それぞれ増加いたしました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末においては資本金が750,000千円、資本剰余金が1,196,550千円となっております。